

製品安全データシート



1, 化学物質等及び会社情報

会社名 純正化学株式会社
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16
電話番号 03-3270-5426 FAX 番号 03-3270-5418
担当部門 試薬部 担当者 菅野英奇
住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町 1-6
緊急連絡電話番号 0489-86-6161 FAX 番号 0489-89-2787
作成日 2001年4月25日
整理番号 69268
製品名 (化粧品原料) ポリエチレングリコール400 Polyethylene glycol 400

2, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品
化学名：ポリエチレングリコール400
別名：カーボワックス400
化学式： $H(CH_2CH_2O)_nOH$
平均分子量：400
CAS No：25322-68-3
含有量：約100%
化審法：7-129
安衛法：公表

3, 危険有害性の要約

分類の名称：分類基準に非該当。
危険性
熱や炎に曝すと、可燃性となる。
有害性
皮膚及び眼に対する刺激性はなく、経口毒性も低い。又蒸気吸入による毒性も知られていない。

4, 応急措置

目に入った場合
直ちに流水で15分以上洗眼する。異常がある場合には、直ちに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合
石けんを用い水でよく洗う。
吸入した場合
新鮮な空気のある場所に移す。呼吸困難、呼吸停止の場合は酸素吸入、人工呼吸を行い直ちに医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合
水でよく口の中を洗浄する。約250mlの水又は牛乳を飲ませる。無理に吐き出させない。異常がある場合には、直ちに医師の診断を受ける。

5, 火災時の措置

消火方法

周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器の周囲に散水して冷却する。

火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。

消火は出来るだけ風上から行い、分解して生成する有毒ガス(CO,CO₂)の吸入を避ける。

消火剤

水噴霧, 二酸化炭素, ドライケミカル, 粉末。

6, 漏出時の措置

火気厳禁とし、ウエス等で拭き取り又は、砂, 土, おが屑, ウエス等にまぶして空容器に回収する。後を大量の水で清掃する。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

毒性は少ないが、出来るだけ目や皮膚に触れないように保護眼鏡, ゴム手袋等の保護具を着用する。

作業終了時には、手洗いとうがいを十分に行う。

火気厳禁。

強酸化剤との接触を避ける。

保管

通気のよい屋内で密栓保管する。

8, 暴露防止及び保護措置

管理濃度：設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会:- - -

ACGIH:- - -

設備対策：洗眼・洗面所の設置。

保護具：保護眼鏡, ゴム手袋等。

9, 物理的及び化学的性質

外観： やや粘稠な無色透明液体

臭い： 無臭。

pH： 5.5 (5%水溶液)

引火点： 230

比重： 1.128

沸点：沸点を示す前に熱分解する。

溶解度

水：可溶。

脂肪族ケトン, アルコ-ル, グルコ-ルエ-テル, エステル, 芳香族炭化水素, 塩素化炭化水素等に溶解するが、脂肪族炭化水素には溶解しない。

10, 安定性及び反応性

可燃性：あり。

発火性(自然発火性,水との反応性):なし。

酸化性:なし。

自己反応性・爆発性:なし。

粉塵爆発性:なし。

安定性・反応性

通常取り扱い条件では安定。

アルコールとしての化学的性質を示し、脂肪酸とのエステルは非イオン界面活性剤として用いられる。
空気中で加熱すれば酸化され300以上ではエテル結合の切断が起こり分解する。

不揮発性。

吸湿性なし。

11, 有害性情報

皮膚腐食性:知見なし。

刺激性(皮膚,目):皮膚及び眼に対する刺激性はない。

・皮膚 ウサギ 500mg/24時間 MILD

・眼 ウサギ 500mg/24時間 MILD

感作性:知見なし。

急性毒性:経口毒性は低く、蒸気吸入による毒性は知られていない。

・LD50 経口 マウス 28,915mg/kg

・LD50 経口 ラット 30,200mg/kg

・LD50 経皮 ウサギ >20g/kg

亜慢性毒性:知見なし。

がん原性(微生物,染色体異常):動物実験で発がん性が報告されている。

IARCによる発がん物質には分類されていない。

変異原性:陽性

12, 環境影響情報

分解性:良好な物質に分類されている。(通産省:安全性点検データ集 1992)

蓄積性:知見なし。

魚毒性:知見なし。

13, 廃棄上の注意

燃焼法:そのまま又は可燃性溶剤に溶かし、燃焼処理を行う。

活性汚泥法:希水溶液の処理。

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物(廃油)処理業者に委託する。

14, 輸送上の注意

容器が破損しないようにし、乱暴な取扱いを避ける。

国連番号:設定されてない

15, 適用法令

消防法...

第2条危険物第4類第4石油類液体包装等級

16, その他の情報

参考文献

- 1) THE MERCK INDEX 12版 7729
- 2) 化学大辞典（共立出版社）
- 3) 溶剤ハンドブック（講談社）
- 4) 原料メーカー資料

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。